

防災行政無線戸別受信機（電池交換）について

防災無線戸別受信機は、停電時でも重要な情報を伝達できるように乾電池を内蔵しています。

正面の電源ランプが「緑／赤色の交互点滅」し、放送終了後に「ピー、ピー」と鳴った場合は、乾電池が消耗し、電圧が低下しているサインですので、乾電池を交換してください。（乾電池が入っていない場合も同様です。）

停電時はもちろんのこと、通常時でも乾電池は消耗していきますので、1年を目処に新しい乾電池と交換しましょう。また、長時間の停電に備えて、予備の乾電池を用意しておきましょう。

なお、電源ランプがオレンジ色になっている場合は、電波の受信状態が良くありません。戸別受信機とテレビが近い場合は、電波が干渉している場合がありますので、できるだけ離して設置するようにしてください。

■ 乾電池と駆動時間について

百石地区	下田地区
<p>■ 乾電池 単1、単2、単3のいずれかの同一種類を<u>4本</u>使用</p> <p>■ 駆動時間 単2アルカリ乾電池で4.8時間</p>	<p>■ 乾電池 単1、単2、単3のいずれかの同一種類を<u>2本</u>使用</p> <p>■ 駆動時間 単1アルカリ乾電池で7.2時間 単2アルカリ乾電池で2.4時間</p>

※動作条件は、放送5分、待機5.5分の繰り返し動作の場合

※使用する乾電池の種類、放送の回数、音量などの条件により駆動時間が変わりますので、目安としてお考え下さい。

■ 問い合わせ先

おいらせ町役場まちづくり防災課 0178-56-2131

■ 乾電池の交換方法

百石地区の戸別受信機



本体右側面の電源スイッチを「切」側にし、正面の「電源」ランプが消えたことを確認します。



図に示すように電池ブタの○印を指で押しながら、矢印方向に動かすとスライドします。古い乾電池を取り出してください。



電池収容部に表示されている⊕⊖表示に従って、新しい乾電池を装着します。



電池ブタをパチッと音がするまでスライドさせ、電池ブタを閉じます。



本体右側面の電源スイッチを「入」側にし、正面の「電源」ランプが緑色に点灯していることを確認します。

下田地区の戸別受信機

